

日本整形外科学会・日本足の外科学会 足部足関節評価質問票（SAFE-Q）の使用手引き

日本整形外科学会・日本足の外科学会、足部足関節評価質問票は、日本整形外科学会診断・評価等基準委員会ならびに日本足の外科学会診断・評価等基準委員会において作成された。名称およびスコアリング方法は以下のように規定する。また、日本整形外科学会・日本足の外科学会、足部足関節評価質問票を許可なく改変してはならない。

I. 質問票名称について

必須 34 項目、選択 9 項目の計 43 項目からなる本質問票用紙の日本語名称は「日本整形外科学会・日本足の外科学会 足部足関節評価質問票」である。英語表記は Japanese Orthopaedic Association / Japanese Society for Surgery of the Foot, Self-Administered Foot Evaluation Questionnaire とする。英語略称表記は SAFE-Q とし、セーフ・キューと呼称する。

II. 質問票記入について

1. 本質問票は患者主体の評価質問であり、質問票記入は患者本人もしくは患者本人と付添人において行う。医療従事者が回答を補佐することは回答を誘導する可能性があるもので望ましくない。ただし、以下の場合はその限りでない。

- 1) 患者さんに質問内容の確認をされた場合
- 2) 身体が不自由で正確な記載が困難な患者さんの場合
- 3) 回答方法の誤りがある場合（VAS の間違いや二重回答）
- 4) その他医療従事者が補佐の必要性を認めた場合

2. 医療従事者は、質問の各下位尺度名や点数が回答者にわからないように配慮する。

III. 質問票項目について

1. 質問構成下位尺度

質問は足部・足関節の①痛み・痛み関連、②身体機能・日常生活の状態、③社会生活機能、④靴関連、⑤全体的健康感、⑥スポーツ（選択項目）、の下位尺度から構成される。

各下位尺度の質問項目は以下のとおりである。

- ①「痛み・痛み関連」は、問 1~7 および 10、11 の 9 項目
- ②「身体機能・日常生活の状態」は、問 12~22 の 11 項目

- ③「社会生活機能」は、問 23~28 の 6 項目
- ④「靴関連」は、問 8, 9 および 34 の 3 項目
- ⑤「全体的健康感」は、問 29~33 の 5 項目
- ⑥選択項目の「スポーツ」は、問 35~43 の 9 項目

2. 質問項目点数

- 1) 問 3 と問 43 以外の質問項目は、左から右の順に 4, 3, 2, 1, 0 点を与える.
- 2) Visual Analogue Scale 方式である問 3 および問 43 は、フルスケール (右端) を 10cm として読んだ数値 (小数点第 1 位まで) を使用する. 問 3 は「(10-数値) × 0.4」点, 問 43 は「数値 × 0.4」点となる.
- 3) (下位尺度毎に集計された点数) × 25 / (各下位尺度の質問項目数) を各下位尺度の点数とする. 各下位尺度の最低は 0 点, 最高は 100 点となる.
- 4) 評価は下位尺度毎の集計点数とし, 合計点数による評価は行わない.
- 5) 各下位尺度の集計点数は「日本整形外科学会・日本足の外科学会 足部足関節評価質問票 (SAFE-Q) 点数集計表」を用いて集計することができる.

【複写利用に際しての注意事項】

本誌に掲載の質問票を利用する際は問 3、問 43 のスケールが 10 cm になるように拡大してご利用ください。また、日本足の外科学会ホームページ(<http://www.jssf.jp/>)からも入手いただけます。

iPad 専用アプリ【SAFE-Q】のご案内

これまで書面で患者さんにご回答いただき、Excel にて集計をおこなっていた「日本足の外科学会 足部足関節評価質問票足部足関節評価質問票 (SAFE-Q)」が、アプリ版の登場によって、全て iPad の中で完結させる事ができるようになり、患者さんが iPad に直接入力する事で、結果の集計、グラフ化が iPad 内で自動化されます。アプリ版の入手方法等の詳しい情報は、日本足の外科学会ホームページをご参照ください。